

第6学年〇組 道徳科学習指導案

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時

学習場所 6年〇組 教室

授業者 ○○○○

1 主題名 意見を伝え、謙虚に受け止める 内容項目〔B 相互理解・寛容〕

- 2 ねらい 自分の考えや意見を伝えることについて、多様な感じ方や考え方を出し合い吟味する過程を通して、謙虚な心をもつことの大切さを理解し、自己の生き方を考えることで、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重する態度を育てる。

教材名 「ブランコ乗りとピエロ」(出典 「新・みんなの道徳」 学研)

3 教材について

(1) 教材観

本教材は、サーカスのリーダーであるピエロが、はじめは自己中心的な振る舞いをするブランコ乗りのサムに腹を立てていたが、真摯に演技に向き合っているサムの姿に接し、サムの気持ちや立場を理解し、寛容になっていくという内容である。

そこで、ピエロが控え室に戻り、サムや団員を見た場面を取り上げ、ピエロに託して児童の多様な感じ方や考え方を引き出していく。話合いを通して、広い心で自分と異なる意見や尊重することの大切さについて、自己の生き方を合わせながら考えさせ、道徳性を養っていきたい。

(2) 児童の実態

本学級では、4月当初より学級作りの一つとして、互いのよさを認め合う場を作ってきた。そして、一学期の終わりには、友達と言い争いになっても、相手の意見に耳を傾ける児童が多くなってきた。また、「ごめんなさい」と友達が言えば、自分のしたことにも目を向け、素直に謝る姿も見られるようになってきている。

しかし、自分自身の言動を振り返ることが難しい実態もある。学級レクでは、誰かがミスをする必要以上に責める児童がおり、自分が言われたらどんな気持ちなのかなど、相手の立場に立って考えていないことが考えられる。

このような課題に対して、自分に謙虚であることが寛容な態度につながると気付けるように、様々な視点から多面的・多角的に考える学習活動を構想していきたい。

(3) 指導観

本内容項目は、広がりや深まりのある人間関係を築くために、自分の考えを相手に伝えて相互理解を図るとともに、謙虚で広い心をもつことを扱う。人の考えや意見は多様であり、多様さを相互に認め合い理解しながら高め合う関係を築くことが重要である。寛容さと謙虚さが一体のものになったときに、広い心が生まれ、潤沢な人間関係を築くことができる。指導に当たっては、まず自分本位に陥りやすい弱さなど、至らなさをもっている自分を謙虚に見つめさせることが必要になる。そして、そこから生まれる相手から学ぶ姿勢こそが、自分を高めたり、広がりや深まりのある人間関係を築いたりする原動力になるという自覚をもたせることが大切となる。

4 学習指導過程

時間 過程	学習内容（数字）・ 学習活動（◎） 補助発問（※）	教師の働きかけ（T）、予想 される児童の反応（C）	評価（☆）、指導上の留意点（●）、 具体的な手立て（○）	準備物
導入 （10分）	1 友達を理解するために心がけていることのアンケートを発表する。	C①相手の話を聞く ②相手の状況を見る ③言われたことを気にしない	●アンケート結果を示し、友達のことを理解していきたいのに、これらが起こってしまうのは何が足りないのか出し合い、ねらいとする道徳的価値へ方向付ける。	アンケート結果
展開 （25分）	2 教材「ブランコ乗りをピエロ」を読んで考える。 (1)演技を終えたサムを見た時のピエロはどんな気持ちでしょうか。 (2)控室に戻り、団員やサムを見たピエロの心の中はどんなのでしょうか。 ※なぜピエロはサムを許すことができたのでしょうか。 ※ピエロは一カ月間どんなことを考えながら練習していたのでしょうか。	C自分勝手な奴だ。 C腹が立つ。 C一生懸命取り組んでいる。 (許せない) C自分のことしか考えていない。 C注意したのに守らなかった。 (サムの良さに気付く) C一生懸命取り組んでいる。 C自分ばかりでない。 Cサムの良さに気付いた。 C自分は勘違いをしました。 C自分もサムのように頑張りたい。 C来てくれているお客さんのために頑張りたい。	○腹を立てているサムの気持ちを押さえながらも、サムの良さに気付く児童がいるか確認する。 ○児童の反応を二つに分け、それぞれの理由を問うことで、児童一人一人がもっている多様な感じ方や考え方を引き出し、整理して板書していく。 ○多様な感じ方や考え方を全体で交流し、吟味し、更にねらいに係る本質的な問いを児童に投げ掛け、自己の生き方を考えさせていく。 ＜評価＞ ☆自分の考えを伝えることや自分と異なる意見や立場を謙虚に受け止めることの大切さに気づく発言をしている。	挿絵
終末 （10分）	3 自己の在り方を考える。 相手と意見が対立したらどうするか。 4 教師の説話	C相手の考え方や努力も認めていく。 C相手の良さに気付けるようになりたい。	●道徳ノートの記入	道徳ノート

5 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・控室に戻り、団員やサムを見たピエロの心の中を、多面的・多角的に考え、自己の生き方と重ね合わせながら考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・自分とは異なる意見や立場を尊重できたことやその時の思いや考えをノートに記入している。